



赤色ソフト

RED SOFTは、ロシアのITソリューションおよびサービスの開発・提供会社で、スコルコボに入居しており、ARPP「Domestic Software」およびRUSSOFTのメンバーでもあります。



赤色ソフト

RED SOFTは、ロシアのITソリューションおよびサービスの開発・提供会社で、スコルコボに入居しており、ARPP「Domestic Software」およびRUSSOFTのメンバーでもあります。

同社は、独自の技術スタックに基づいて、データの保存と管理の分野で複雑なプロジェクトを実施しています。ロシアの公共部門で15年以上の開発経験を持つ効率的なチームである。

RED SOFTには、独自の製品群があります。RED OS、Red Database DBMS、Red Platform、RED Virtualization、REDSLIZなどがそれにあたります。当社のお客様の中には、連邦吏員局、検察庁、国防省、ロステレコム、トランスネフチ、ガस्पロムなど、20以上の国家機関や企業が含まれています。また、国内の各地域でもプロジェクトが積極的に進められています。

最初のAISからCII施設向けソフトウェアまで

現在、RED SOFTは重要な情報インフラのオブジェクトをロシアの耐酸性ソフトウェアに移行し、同国経済のデジタル化に貢献しています。例えば、2020年には、RED SOFTのスペシャリストが、チェルノモルネフテガスやロステレコムなどの産業界の企業のワークステーションやサーバーに、OS「RED OS」を導入しました。同年、デジタルセキュリティ省は、ロシア連邦金融市場局と共同で開発したスーパーサービス「Digital Enforcement Proceedings」を、Gosusluzhbaポータルの最速オンラインサービスとして認めました。「レッドソフトのスペシャリストは、2010年にロシア連邦金融市場局のために最初のプロジェクトを開発しました。その中には、Red Database DBMSとRed Platformをベースにした自動情報システムがありました。その後、GosLinuxオペレーティング・システムを開発しました。RED SOFTの副社長であるRustamovは、RED SOFTの歩みの始まりについて次のように述べています。「現在までに、同社は同局の運用に関する技術サポートを提供しています。」

同社の顧客には、以下のようなものがあります。

20 臓器
ステートパワー

RED SOFTは、他の政府機関向けの情報システムを開発し、機関間の電子的



なやり取りをサポートしています。顧客には、ロシア国防省、ロシア検察庁、ロシア連邦吏員局、連邦航空輸送庁、ロシア連邦刑務局などが含まれます。同時に、主力製品であるRED SOFTのOS「RED OS」をはじめとする製品群の開発も進めています。このソリューションは、ITの輸入代替プログラムを実行するために使用されます。RED SOFTは、実現したことにとどまりません。国産IT製品への需要が高まり、国家レベルの新たな戦略的課題が生まれています。会社もそれに合わせて成長していきます。現在、RED SOFTでは、モスクワ、ムロム、ドゥブナ、トヴェールで300人が働いています。同社は、ロシア市場とその顧客の新たな要求を満たす製品を開発しています。その中には、サーバーとワークステーションの仮想化管理のための複雑なソリューション「RED Virtualization」、集中型の設定配布およびドメインアカウント管理システム「RED ADM」、グラフィックおよびビデオ情報の生体認証処理のためのプログラムセット「GEMBA-stack」などがあります。

RED OSのエコシステム：幅広い用途に対応する機能的なソリューション

2013年、政府はセキュリティ問題を背景に、外国製ソフトウェアを国産 RED OSのオペレーティングシステム RED OSは、ロシア通信省のは、フリーソフトウェア（Linux互換「Uniform Registry of Russian

ソフトウェアに置き換えることを決定しました。ロシア連邦環境・技術・開発をベースにしています。現在、原子力監督局向けにOSを開発し、その導入に成功した経験を持つRED SOFTは、RED OSを市場に投入しました。

のディストリビューション)と独自の登録されています (No.3751)。RED OSは、ロシアのFSTECから第4保護クラスの認定を受けています。これは、重要インフラ施設、第1セキュリティクラスまでの国家情報システム、個人情報の第1セキュリティレベルまでの個人情報情報システムで、このソリューションを使用できることを意味します。

た、RED OSは、国産ハードウェアとの互換性も確認されており、輸入代替政策に準拠した包括的なテクノスタックを形成することが可能となります。

ORDER 7.3

2021年にリリースされた新バージョンのOSです。最新

の安定版Linux 5.10 LTSカーネル（長期サポート）を採用したことで、OSと「ハードウェア」の相互作用が加速されたこと、スキャナーやプリンターを完全に動作させるために、GutenPrint、OpenPrint-PPD、Foomaticといったドライバーのデータベースが追加されたこと、RED OS 7.3では古いデバイスでも正しく動作することなどがその理由です。つまり、RED OS 7.3では、古いデバイスでも正しく動作するということです。ロシアにある独自のリポジトリを利用することで、突然の規制や制裁によるシャットダウンの脅威を理論的にも排除することができます。親しみやすく使いやすいインターフェース、質の高いテクニカルサポート。

"現在、RED OSは、様々な政府機関や州政府の企業の自動化されたワークステーションやサーバーにすでにインストールされています。産業組織のビジネスプロセスに必要な新しい特殊ソフトウェアも登場している。ロシア製のハードウェアが普及している。私たちのOSは、それらのそれぞれとの互換性をタイムリーに確認しています。これは、輸入に依存しない技術スタックを作成し、短期間で実装するための唯一の方法です"と、RED SOFTの副社長であるRustam Rustamovはコメントしています。







メイド・イン・ロシア・プロジェクトは、デジタル取引とメディアのプラットフォームです。メイド・イン・ロシアの12カ国語によるビジネス情報機関や、海外での商品やサービスの販売・宣伝を行うデジタル商社などが含まれています。プラットフォームに登録された企業は、Made in Russiaプロジェクトのロゴの使用権、ロイヤリティプログラム、サービス、施設へのアクセス権を得ることができます。



ブランドページ

<https://monolith.madeinrussia.ru/ja/catalog/3384>

pr@madeinrussia.ru